



(株)ミウラファーム津軽のオペレーターチーム

経営概要

- ◆ 代表者、所在地
三浦裕行、青森県弘前市
- ◆ 設立年
令和2年1月
- ◆ 経営規模
水稲 70ha、にんにく 1ha、りんご 0.2ha
- ◆ 従業員数
正社員 5名、パート・アルバイト 1名
- ◆ 事業内容
農作物の生産・加工・販売、農作業・除排雪作業の受託等に取り組む。

1 現状及び相談内容

水田を主体とした規模拡大に取り組む中、個人ごとの経営規模が拡大し、**雇用労働力の安定確保と経営を持続するために人材の育成**、近隣5市町村にまたがる**農地の効率的な管理や省力化などの諸課題の解決を図る**ため、法人化等に関して平成31年3月に相談があった。

2 支援内容

中小企業診断士による経営診断をした上で、税理士による**経営資産の引継ぎ、社会保険制度への対応に関する助言**を行った。また、生産性を向上させるため、普及指導員等による水稲の初冬直播き栽培や特別栽培農産物などへの**技術指導、補助事業の活用**等を支援した。

3 人材の確保・育成に資する取組

★ I T 技術の導入や農作物の栽培技術を見直すことで、省力化と収益力の向上を図ることで、**通年雇用を実現**。また、従業員のチャレンジを推奨し、経営層がフォローする体制を構築

■ ICTを活用して業務改善

ほ場管理システムを導入し、5市町村に分散する農地の場所や作業状況等をスマートフォン等でリアルタイムに確認・指示することで、**効率的な作業体系を実現**した。

■ 生産性向上

水稲育苗施設の効率利用と繁忙期の作業分散を図るため、密苗や疎植栽培、初冬直播き栽培などの新技術を導入した。

■ 社員提案による新品目の導入等

社員の提案・意見を取り入れながら、水稲と繁忙期が異なる新作目の試作に取り組んだ。

農薬や化学肥料を使用しない野菜栽培にチャレンジするなど、生産から販路の開拓、加工品開発などを通じて、**全社員の成長を細かくフォロー**した。

■ 通年雇用の実現

農業機械のオペレータ社員に機械整備の技術習得を支援することで、**農閑期の仕事づくりとコスト低減を両立**した。また、冬期の除排雪作業を社外から受託することなどで、**従業員の通年雇用を実現**した。



田植作業の様子

今後の意気込み

今後とも、水田主体の経営強化の取組を継続し、社員がそれぞれの特徴・特技をいかし、様々な仕事に夢中になれるような職場環境の実現をめざす。

専属スタッフ所感

法人化を契機に人材育成や社外との連携強化など、更なるステップアップを期待します。